

コロナ危機乗り越え目指す社会は

全国革新懇がシンポ

志位委員長ら5人が発言

全国革新懇主催のシンポジウム「コロナ危機を乗り越える新しい社会をめざして」が19日、東京都内で開かれました。シンポジウムはオンラインで全国に配信。新型コロナウイルス感染症流行の危機が浮き彫りになっている医療、経済、エンターテインメントなど各分野での課題を明らかにし、新自由主義を押し進める政治から転換する展望について5人の聴者が語り、参加者と交流しました。

↓5氏の発言要旨①面



志位和夫

本田 宏

全国革新懇のシンポジウム。左から志位、本田、藤田、石川の各氏＝19日、東京都千代田区

パネリストとして、石川 康宏神戸女学院大学教授（兼コーディネーター）、藤田孝典NPOほっとプラズ理事、本田宏医療制度研究会副理事長、岡野八代同志社大学教授、日本共産党の志位和夫委員長が発言しました。

志位氏は、新型コロナウイルス危機を乗り越えるために政治は何をなすべきかと述べ、科学無視、「自己責任」押し付けといった二つの致命的欠陥を抱えた安倍・菅政権のコロナ対応の根本的転換が必要だと強調しました。

また、新型コロナウイルス危機を乗り越えた先に目指す社会として、日本共産党が第2回中央委員会総会で提唱した「新しい日本をつくる五つの提案」を丁寧に説明。

①新型コロナウイルスの体験から得た教訓を踏まえて、新しい

日本を構想する②安倍・菅政権がつくった負の遺産を一新し、政治の抜本的刷新

を打ち出す③安倍・菅政権を倒す④野党連合政権を盛り上げてくる⑤野党連合政権を盛り上げてくる⑥野党連合政権を盛り上げてくる⑦野党連合政権を盛り上げてくる⑧野党連合政権を盛り上げてくる⑨野党連合政権を盛り上げてくる⑩野党連合政権を盛り上げてくる

を打ち出す③安倍・菅政権を倒す④野党連合政権を盛り上げてくる⑤野党連合政権を盛り上げてくる⑥野党連合政権を盛り上げてくる⑦野党連合政権を盛り上げてくる⑧野党連合政権を盛り上げてくる⑨野党連合政権を盛り上げてくる⑩野党連合政権を盛り上げてくる

1/20
5/24

19日に都内で開かれた全国革新懇主催のシンポジウム「コロナ危機をのりこえる新しい社会をめざして」でのパネリスト4氏の発言(要旨)を紹介します。

パネリスト4氏の発言

物言う力鍛えよう

新自由主義はコロナ・パンデミック(世界的大流行)被害を広げる方向に働いています。他方、その状況を乗り越えるために、新しい社会を構築する動きが広がっています。

新自由主義の破綻が明らかで、世界銀行の発表で景気悪化は戦後最悪。年末までに約800万人の子どもが最貧層に転落するといわれています。日本は明らかに経済活動しかならなくなって、人が政治を運営し、人



神戸女学院大学教授
石川 康宏さん

災が深刻化しています。性別や性的指向や雇用形態、国籍などの違いを超えて、あらゆる人の命と暮らしを最優先にする社会づくりが必要で、その社会づくりの事例として、北欧のデンマークは医療・介護、教育が無料。それは国家が市民に対して提供する義務

を負っているものです。市民がものを言う力、政治に声を届ける力を鍛える必要があります。国民が皆、皆の心と力に集まることで野党は政権獲得への覚悟を持っていただき、私たちはその実現へ全国で力をあわせていきたいと思います。



同志社大学教授
岡野 八代さん

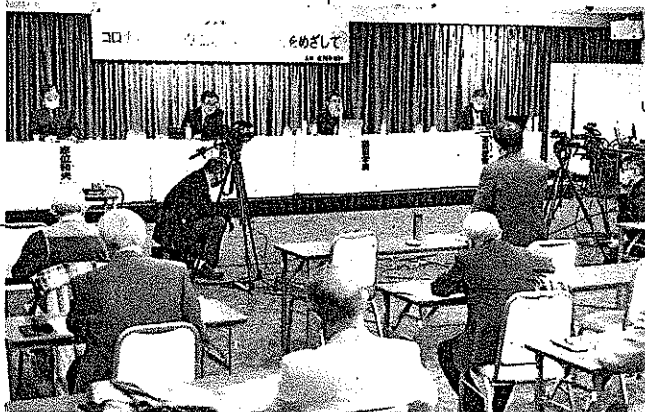
突然の一言休校は、懸念するほど怒りがこみあげました。働く母親や医療・介護などケアに携わっている人たちも、子どもたちをケアしてもしらなければならない手当の連関性があります。大パニックに陥ったのではないのでしょうか。ケアを担う人々への政権の無関心が露呈しました。

望を政策に反映していく視点は、すべての人に共通した問題です。子どもたちや病気の人が、コロナで苦しんでいる人を、心に残さず、ゆがんだ政治を

誰がケアしているか、その人たちのニーズを社会は聞き取っているかを特に問います。返していかないと政治の中に無責任な特権者は政治の場から退場してもらおう。人と

ケアの観点政策へ

たださねばなりません。政治の場がケア実践の価値を理解しない無責任な特権者で占められています。無責任な特権者は政治の場から退場してもらおう。人と



全国革新懇のシンポジウムで質問をする参加者—19日、東京都千代田区

女性支援 集中的に

日本社会は貧困・生活困窮に対して自己責任的な見方をもち、対策がほとんどなされていません。人を犠牲にする社会からコロナ禍

NPOほっとプラス理事 生存のためのコロナ対策ネットワーク共同代表



藤田 孝典さん

をまっかけに転換する食、観光業など女性の非正規雇用が多い現場です。自殺にまで追い込まれる状況です。リーマン、ショックでは男性の非正規雇用が苦

新自由主義社会から脱却しなければ日本は衰退します。革新懇の運動が改めて求められています。共に歩みを進めたい。苦しい人を権利要求の主体に変える運動を続けます。

食、観光業など女性の非正規雇用が多い現場です。自殺にまで追い込まれる状況です。リーマン、ショックでは男性の非正規雇用が苦

医師 医療制度研究会副理事長



本田 宏さん

20年前から医療崩壊を防ぐためには医療現場を知っていたらいいかなと全国で講演を続けてきました。後期高齢者の窓口負担を1割から2割に倍加するとい

産、当たりの医療費の伸びは高単化が進んでいるので抑制されています。そこへ率負担なのです。医療費抑制政策によって

自助優先 変える時

い日本を変えようという世界では医療費負担は無料が当たり前で、そうでない場合も小額の定額や定額負担なのです。医療費抑制政策によって

医師数もOECD(経済協力開発機構)平均(人口10万人当たり)から徐々に落ちて、13万人も不足しています。医学部卒業生も伸びていないのに、厚生労働省は2023年度から医学部の定員を削減する決めま

い日本を変えようという世界では医療費負担は無料が当たり前で、そうでない場合も小額の定額や定額負担なのです。医療費抑制政策によって

